

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎230052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



西原市長に油彩画の説明をする八木さん（写真中央）

絵を通してより明るい社会に

■絵画寄贈式

焼津市出身で東京都在住の洋画家八木道夫さんが油彩画を市に寄贈し、2月22日、市役所榛原庁舎で寄贈式が行われました。

この油彩画は、栃木県的那須御用邸に向かう街道沿いに咲くヤマユリを描いたもので、知人の平井功さん（大沢区）とのご縁で寄贈されたものです。

八木さんは「絵を通して社会がより明るくなればうれしい」と話しました。

油彩画は、市防災研修センター（波津区）内に飾られます。

ひまわり号に児童図書を送る

■児童図書寄贈

有限会社さがら産業開発クラブが、2月16日、市役所相良庁舎を訪れ、市立図書館の移動図書館「ひまわり号」へ児童用の図書35冊を寄贈しました。

寄贈された本は、平成20年からさがら子生れ温泉会館で開催している、フリーマーケットの出店料やバザーの収益金の一部を活用し、購入されたものです。

山崎善道代表取締役は「図書を活用して、子どもたちに一生懸命勉強してもらいたい」と話しました。



坪池教育長に目録を手渡す山崎さん（写真中央）

県外へ避難する手順を確認

■牧之原市原子力防災訓練

原子力防災訓練が2月27日、い〜らで行われ、波津区の自治会役員や住民が参加しました。

訓練は、浜岡原子力発電所での事故発生に伴い、原発から半径5キロメートルの予防防護措置区域（PAZ）の市民が、山梨県中央市へ避難することを想定に実施されました。

参加者を代表して約20人が、自家用車やバスに乗り避難を開始。実際の避難ルートを設定した避難情報把握ポイントを設け、自治会役員と市職員が避難人数を確認しました。



避難人数を確認する訓練を行う参加者たち



さまざまな種類のお茶とスイーツを堪能した来場者

お茶とスイーツを楽しむ

■お茶カフェ大集合まきのほら協奏曲

市内のお茶とスイーツが楽しめる、お茶カフェ大集合「まきのほら協奏曲」が2月21日、高尾山石雲院（坂部区）で行われました。

静岡牧之原茶宣伝隊が多くの人に静岡牧之原茶を知ってもらおうと企画し、今回で2回目。会場では、市内のお茶生産農家や茶問屋など13ブースが並び、約300人が訪れにぎわいました。

訪れた人は、市内の和洋菓子店自慢のスイーツを味わいながら、深蒸し茶や釜入り茶、紅茶などさまざまなお茶を楽しみました。



神の葉を口にくわえ御神体を一幡神社へ運ぶ参加者

今年の五穀豊穡を願う

■一幡神社の御神神事

菅ヶ谷地区の一幡神社に伝わる県指定無形民俗文化財「御神神事」が2月5日から7日にかけて行われました。

この神事は、五穀豊穡を願い行われる古例祭の別名で、二十八名と呼ばれる28軒の家が主催となって執り行われる宮座行事です。28軒が2軒1組となり、14年に1回その1組が年番となり「本名」と「相名」の役割を務めます。

新本名となった田形正樹さんは「できることを頑張っていきたい」と抱負を語りました。

まきのほらの魅力を体感

■まきのほら暮らし体験モニターツアー

県外在住で移住を検討している人を対象に、2月13日と14日の2日間にわたり、「まきのほら暮らし体験モニターツアー」が行われました。

関東圏を中心に家族連れや若者、高齢者など11組、計19人が参加。参加者は、地域グルメの実食や野菜の収穫体験をしたほか、移住者から話を聞くなどしました。

参加者からは「事前に地域のことを知ることができて参考になった」など、体験の感想を話しました。



畑（片浜区）で大根の収穫を体験した参加者たち

7代目「茶ンピオン」決定

■第7回TEA HERO選手権

「第7回TEA HERO選手権」決勝大会が1月16日に市史料館で開催され、市内各小学校の予選を勝ち上がった5年生75人が出場しました。

市の特産品であるお茶を楽しみながら知ってもらおうと、JAハイナン青壮年部が毎年開催しています。深蒸し煎茶、普通煎茶、望、つゆひかり、釜入り茶の5種類を、茶葉の形や香り、味で銘柄当てに挑戦し、合計得点で競い合いました。

個人の部は、不知さん（片浜小）、団体の部は、相良小学校Aチームが優勝しました。



見事、個人の部で優勝した不知さんとチャーフィン



元気よくステージから豆やお菓子を投げる園児たち

元気よく「鬼は〜外！福は〜内！」

■豆まき／萩間保育園

2月3日、節分の豆まきが萩間保育園で行われ、園児89人が参加しました。

園児たちに節分の由来を知ってもらおうと、保育園の先生たちが寸劇を披露。園児らは、鬼に扮した先生たちを怖がりながらも、節分の由来を学びました。

その後に行われた豆まきでは、園児らが手づくりした鬼のお面をかぶり、ステージの上から大きな声で「鬼は外」「福は内」と元気よく叫びながら、豆やお菓子を投げて節分を楽しみました。